

令和元年 7 月

第 1 回臨時教育委員会会議

会 議 録

令和元年 7 月 29 日開催

# 会 議 録

開催日時	令和元年7月29日(月)	午後2時	開会
		午後4時33分	閉会
場 所	旭川市教育委員会 会議室		
出席者	教育長及び委員	教育長 黒蕨 真一, 教育長職務代理者 杉山 信治, 委員 滝山 義之 委員 近藤 美保, 委員 本田 哲嗣	
	事務局	説明員	学校教育部長 山川 俊巳 学校教育部次長 林上 敦裕 学校教育部次長 岩崎 昌美 学校教育部次長 佐藤 潤一 教育指導課主幹 辻並 浩樹
		事務局員	教育政策課 上江 昌弘 同 星 由里夏 学務課課長補佐 森松 知子 学務課主査 長井 恵 学務課 及川 修二
	旭川市教科書調査委員会	社会及び地図小委員会小委員長 石前 聖香 同 委員 秋元 秀夫 家庭小委員会小委員長 千葉 憲史 音楽小委員会小委員長 井村 佳代子 図画工作小委員会小委員長 北島 やよい 特別支援教育小委員会小委員長 横山 市子	
傍聴者	0人		
公開・非公開の別	一部非公開		
会議次第	1 開会 2 会議録署名委員 3 前回会議録 4 審議事項 ・議案第1号 令和2年度から使用する旭川市立小学校用教科用図書の採択について 5 その他 6 閉会		

審 議 内 容		
発 言 者	発 言 要 旨	
教 育 長	<p>《 開 会 》</p> <p>ただいまから、令和元年7月第1回臨時教育委員会会議を開会します。</p> <p>《会議録署名委員》</p>	
教 育 長	<p>本日の会議録署名委員は、滝山委員、近藤委員を指名をします。</p> <p>《 前回会議録 》</p>	
教 育 長	<p>会議録ですが、平成31年4月第1回臨時教育委員会会議（平成31年4月10日開催）、平成31年4月定例教育委員会会議（平成31年4月26日開催）、令和元年5月定例教育委員会会議（令和元年5月21日開催）、令和元年6月定例教育委員会会議（令和元年6月6日開催）及び令和元年7月定例教育委員会会議（令和元年7月25日開催）の会議録については、現在調製中でございますので、調製後、承認するという事によろしいですか。</p>	
各 教 育 委 員 長	<p>異議ありません。</p> <p>「異議なし。」と認め、平成31年4月第1回臨時教育委員会会議、平成31年4月定例教育委員会会議、令和元年5月定例教育委員会会議、令和元年6月定例教育委員会会議及び令和元年7月定例教育委員会会議の会議録については、調製後、承認することといたします。</p>	
教 育 長	<p>《 審 議 事 項 》</p> <p>それでは、審議事項に入ります。</p> <p>令和元年7月25日付け提出の議案第1号「令和2年度から使用する旭川市立小学校用教科用図書の採択について」ですが、その性質上、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書の規定により秘密会といたしたいと思いますが、いかがですか。</p>	
各 教 育 委 員 長	<p>異議ありません。</p> <p>「異議なし。」と認め、令和元年7月25日付け提出の議案第1号「令和2年度から使用する旭川市立小学校用教科用図書の採択について」は、秘密会といたします。</p>	
教 育 委 員 長	<p>《 そ の 他 》</p> <p>他に、何かありますか。</p> <p>ありません。</p> <p>ありません。</p>	
教 育 長	<p>《 秘 密 会 》</p> <p>ここからは、秘密会といたします。それでは、前回に引き続き、令和元年7月25日付け提出の議案第1号「令和2年度から使用する旭川市立小学校用教科用図書の採択について」を議題といたします。</p> <p>前回の会議では教科書採択の意義、採択方針の再確認を行ったほか、審</p>	

各  
教  
育  
委  
員  
長

議の進め方も確認をしたところでございます。ここで皆さんにお諮りをいたしますが、本日は、前回に引き続き、旭川市教科書調査委員会各小委員会小委員長及び必要に応じて小委員会の委員の出席を求め、「答申」の説明を受け、次に委員の皆さんから質問を行う形で審議を進めたいと思います。本日報告をいただきますのは、社会、地図、家庭、音楽、図画工作、特別支援の6種目であります。次に7月25日に各調査委員から報告がありました種目ごとについて、発行者が4者以上あるうちから、採択の審議対象とするものを3者程度まで絞り込み、各委員の皆さんに御発表いただきたいと考えておりますが、このような進め方でよろしいでしょうか。

異議ありません。

「異議なし。」と認め、早速ではございますが、審議に入りたいと思います。

暫時休憩いたします。

(社会及び地図小委員会小委員長及び委員入室)

教  
育  
長

再開いたします。

最初に、社会及び地図の審議を始めます。本日は御多用のところ、教育委員会会議に御出席いただきまして、ありがとうございます。令和2年度から使用する旭川市立小学校用教科用図書採択に当たり、旭川市教科書調査委員会小委員長のお立場から当該委員会における調査研究結果について、答申書に基づいて御説明をお願いします。まず、調査委員会における役職・氏名を述べていただきまして、5分程度で説明をいただき、その後、教育委員からの質問に対して、お答えいただきたいと思います。調査委員会において専門的な見地や保護者の立場等から調査した結果について、調査委員として教科書の特徴等についてお話いただきたいと思います。なお、調査研究結果についての報告や説明、質問に対する回答の際は、着席したままで結構です。

それでは、よろしく願いいたします。

石前小委員長

社会及び地図小委員会小委員長の石前聖香と申します。本日はどうぞよろしく願いいたします。

社会及び地図小委員会は、6名の調査委員で構成され、3回の小委員会を開催し、社会は3者、地図は2者の教科用図書について、旭川市教育委員会の教科用図書の採択方針に基づき調査研究を行いました。

調査結果については、発行者ごとに別紙様式1に記載するとともに、観点ごとに各発行者の特徴を比較できるように、別紙様式2の一覧表に整理いたしました。まずはじめに、社会の調査結果について御報告申し上げます。

取扱内容、内容の構成・排列、分量等、使用上の配慮等については、別紙様式1に記載したとおり、全ての発行者において、社会科の目標である「平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎」の育成が図られるよう学習活動が設定され、構成等が工夫されておりました。

別紙様式2を御覧ください。2ページの上から2つ目の観点に記載しております指導上の配慮等については、地域素材、ICTの活用及び小・中連携した指導の3つの視点で調査研究を行いましたところ、次のような特徴がございました。

1つ目、地域素材については、北海道の地域素材が、全ての発行者で取り上げられておりました。とりわけ、教育出版と日本文教出版では、第5学年で学習する寒い土地の学習における地域の例として、本市が取り上げられております。

2つ目、ICTの活用については、各者ともに学習内容に関わるデジタルコンテンツや公的機関等のホームページへのリンクが可能となっております。

児童が学習への興味を高めたり、家庭学習で活用したりすることができるようになっております。とりわけ、東京書籍と教育出版は、二次元コードとURLの2つを掲載しており、学校や家庭のICT環境に応じて利用できるよう配慮がなされておりました。

3つ目、小・中連携した指導については、社会参画の意識の育成と小学校から中学校への学習の接続の2つについて説明申し上げます。

まず、社会参画の意識の育成についてですが、このことについては、各者ともに学習内容を踏まえて、自分たちにできることを考えさせるページを設けております。とりわけ、東京書籍は、全学年において、ほぼ全ての単元に設定するとともに、話合いの進め方や考えの提案方法を具体的に示し、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を継続的に育成できるよう配慮がなされております。

また、小学校から中学校への学習の接続についてですが、このことについては、各者ともに第6学年の巻末に中学校の社会科の学習について説明するページを設けております。とりわけ、東京書籍は、「中学校に向けて」のページにおいて小学校の学習と中学校の各分野の学習との違いを具体的に示し、児童が中学校の社会科の学習をイメージし、関心を高めることができるよう配慮がなされております。

続いて、別紙様式2の2ページの上から3つ目の観点に記載しておりますが、本市児童の社会科の学習の状況等から見られる課題の解決に資する内容の視点で調査を行ったところ、次のような特徴がございました。

1つ目、「複数の資料を関連付けて、社会的事象の特色や相互の関連について考える力の育成」については、全ての発行者で「位置や空間的な広がり」や「時期や時間の経過」など、資料活用の視点を示す欄を設けております。とりわけ、教育出版では、第5学年及び第6学年において、これらの欄に加え、「資料アとイを見比べると」のように、資料活用の視点が具体的に示されており、どの資料をどのように関連付けて考えることが問題を解決する上で有効であるかが分かるよう工夫がなされておりました。

2つ目、「地域や我が国の地理的環境についての理解」については、都道府県の様子と我が国の領土の2つについて説明いたします。

まず、都道府県の様子についてですが、このことについては第4学年で取り上げられております。とりわけ、東京書籍と教育出版では、該当単元において、都道府県の特徴をカードへ書き込んだり、クイズを作ったりする活動が示されており、児童の意欲を高めながら理解を深められるよう工夫がなされておりました。

また、我が国の領土についてですが、このことについては第5学年及び第6学年で取り上げられております。特に、北方領土に関しては、各者ともに、北方領土が日本固有の領土であることや、日本政府が返還を求めていることなどについて記載しておりました。とりわけ、東京書籍では、本文の説明のほかに、資料で「北方領土が1日も早く日本に戻ることが、わたしたち日本人の願いです。」と記載しており、児童が国民の一人としてこの問題を捉えるように促す記載となっております。

社会の調査結果の報告は以上です。

続きまして、地図の調査結果について御報告いたします。

地図につきましても、取扱内容、内容の構成・排列、分量等及び使用上の配慮等については別紙様式1に記載したとおり、全ての発行者において社会科の目標である「平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎」の育成が図られるよう学習活動が設定され、構成等が工夫されておりました。

別紙様式2を御覧ください。下から2段目に記載しております指導上の配慮等については、地域素材、ICTの活用及び小・中連携した指導の3つの視点で調査研究を行い、次のような特徴がございました。

1つ目、地域素材については、2者ともに北海道地方の地図を掲載するとともに、本市が最低気温を記録したことなどを取り扱っております。特に帝国書院では広く見渡す地図と都道府県を見る地図の見開き2ページで北海道地方を掲載するとともに、北海道地方南部についても、見開き1ページで掲載しており、市街地や公用地など本道の土地の使われ方を詳しく捉えることができるように配慮がなされています。

2つ目、ICTの活用について、どちらの発行者もインターネットや地図の使い方や地図記号などのデジタルコンテンツを利用することができるページに二次元コードやマークを示しており、ICTを活用して学習を深めることができるよう工夫がなされており、大きな違いはございませんでした。

3つ目、小・中連携した指導については、どちらの発行者も中学校の社会科の学習との連携を図っています。特に東京書籍では、コロンブスやマゼランが行った新航路の開拓に関わる地図など、日本と世界の関わりを示す地図を見開き2ページで掲載しており、児童が世界の歴史に対する興味関心を高めることができるよう工夫されています。

最後に、本市児童の社会の学習の状況等から見られる課題の解決に資することについては、「複数の資料を関連付けて情報を読み取る技能の育成」、「地域や我が国の地理的環境の理解」の2つの視点で調査を行い、次のような特徴がございました。

1つ目、「複数の資料を関連付けて情報を読み取る技能の育成」については、どちらの発行者も地図の使い方を説明するページを設けております。特に帝国書院では、「地図のやくそく」及び「地図の使い方」を見開き5ページで記載しており、スモールステップで地図の活用の仕方が理解できるよう配慮がなされています。また、資料統計ページには、気候や地形などのテーマごとに地図とテーマに関連する資料が掲載されておりました。特に帝国書院が5つのテーマを取り上げており、児童がこれらのテーマについて地図と資料を関連付けて読み取る活動を行うことができるよう工夫がなされています。

2つ目、「地域や我が国の地理的環境についての理解」については、2者ともに都道府県の名称と位置について理解を深めることにつながるページや我が国の領土について理解を深めることにつながるページが設けられておりました。特に、「我が国の領土について」は、帝国書院において北方領土を日本固有の領土の一つとして掲載しています。

地図の調査結果の報告については以上です。

教 育 長  
滝 山 委 員

社会及び地図について、御意見、御質問等がありますか。

石前小委員長

6年生の教科書で東京書籍が、歴史分野とそれ以外で2つに分かれています。教える場合においては分かれています方が良いのですか。

本 田 委 員

使い勝手としては、合版・分冊ではあまり変わりがないと現場では考えられます。持ち帰り等で荷物の重さを考えたときには、分冊の方がランドセルの重さが少し軽減されると考えられる程度です。

石前小委員長

指導要領の内容で、育成を目指す資質・能力の中に、各学年とも社会科においては調査活動や地図帳、各種の具体的な資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能、あるいはそれを表現する力を養うとあります。このことについて、各者ともそれに見合うような学習活動が展開できるような構成及び内容になっているのか教えてください。

本 田 委 員

3者とも、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされておりました。話合いの視点を示したりしながら、活発に意見を交流できるような単元を設定しておりました。

調査書では、東京書籍は、話合いの進め方や考えの提案を具体的に示し学習したことを社会生活に生かそうとする態度を継続的に育成できるよう配慮がなされているとありますが、他の2者においても、遜色なくこのこ

石前小委員長	<p>とについては触れられているということでしょうか。</p> <p>そうです。ただ、東京書籍の方が、視点を与えて、子どもたちの話合いの活発化を促すような学習の進め方が提案されていたということです。</p>
本田委員長 教育長	<p>分かりました。</p> <p>今回教科書の採択に当たっては、図書館等で教科書の展示会を行っている中で、広く市民の方々からも、社会に関する関心が高く、色々と御意見をいただいているところでもあります。様々ありますが、その中で、いわゆる「南京事件」について、御意見が寄せられていますけれども、この辺りでの記載の内容とといいますか、調査した内容があれば御説明お願いしたいと思います。</p>
石前小委員長	<p>いわゆる「南京事件」につきましては、全者が取り上げております。東京書籍につきましては、児童がノートにまとめた形式をとりまして記載されています。教育出版については、資料の説明の中に記載されています。</p> <p>日本文教出版については、コラムの欄に説明が記載されており、この出来事について「今なお議論が続けられています。」という記述がございます。</p>
教育長	<p>ありがとうございます。御説明の中にはなかったのですが、他の教科との関連性、例えば算数や理科との関連などで特徴的なものはありましたか。</p>
石前小委員長	<p>3者とも写真や資料が非常に丁寧に載ってまして、特にグラフの読み取りは、棒グラフや円グラフ、折れ線グラフであったり、読み取る中身によっては非常に貴重な資料となることから、算数の学習との関係が深いと考えております。</p>
本田委員	<p>地図帳について、これまで4年生で配付していた地図帳を3年生から配付するのですが、中学年であっても3年生と4年生の発達段階や学習内容から考えて、3年生に与えたときに、何か興味を引くような内容で特徴的なものがあれば教えていただければと思います。</p>
石前小委員長	<p>3年生は最初自分の学校周辺を採検する学習から始めまして、自分たちで絵マップのようなものを作るところから地図の学習がスタートするので、絵と併せて地図記号を学んでいくということで、子供たちの発達段階からも地図記号に興味を持ちやすいので、非常に有効かなと思います。</p>
教育長 各委員 教育長	<p>他に御意見、御質問等がありますか。</p> <p>ありません。</p> <p>それでは、社会及び地図の審議はこれで終了します。ありがとうございます。</p>
石前小委員長 教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>暫時休憩いたします。</p>
教育長	<p>(社会及び地図小委員会小委員長及び委員退室) (家庭小委員会小委員長入室)</p> <p>再開いたします。</p> <p>次に、家庭の審議を始めます。本日は御多用のところ、教育委員会会議に御出席いただきまして、ありがとうございます。令和2年度から使用する旭川市立小学校用教科用図書採択に当たり、旭川市教科書調査委員会小委員長のお立場から当該委員会における調査研究結果について、答申書に基づいて御説明をお願いします。まず、調査委員会における役職・氏名を述べていただきまして、5分程度で説明をいただき、その後、教育委員からの質問に対して、お答えいただきたいと思います。調査委員会において専門的な見地や保護者の立場等から調査した結果について、調査委員として教科書の特徴等についてお話いただきたいと思います。なお、調査研究結果についての報告や説明、質問に対する回答の際は、着席したままで結構です。</p>

千葉小委員長

それでは、よろしく願いいたします。

家庭小委員会小委員長の千葉憲史と申します。どうぞよろしく願いします。

家庭小委員会は、4名の調査委員で構成され、2者の教科用図書について、3回の小委員会を開催し、旭川市教育委員会の教科用図書の採択方針に基づき調査研究を行いました。

調査結果については、発行者ごとに別紙様式1に記載するとともに、観点ごとに各発行者の特徴を比較できるよう、別紙様式2の一覧表に整理しました。その結果を報告します。

取扱内容、内容の構成・排列、分量等、使用上の配慮等については、別紙様式1に記載のとおり、2者ともに家庭の目標である「生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力の育成」が図られるよう、学習活動が設定され、構成等が工夫されておりました。

別紙様式2を御覧ください。1ページの下段から2ページにかけて記載しております。指導上の配慮等については、地域素材の扱い、ICTの活用、小・中連携の視点で調査を行ったところ、次のような特徴がございました。

1つ目、地域素材の扱いにつきましては、2者とも北海道の郷土料理や食材、住環境の例として扱っておりました。とりわけ開隆堂では、北海道に関わりのある料理や食材等を取り上げている箇所が多く見られました。

2つ目、ICTの活用につきましては、2者とも、教科書に記載されているQRコードを携帯端末に読み込ませると必要な動画や画像を見ることができるデジタルコンテンツの利用が可能となっております。とりわけ開隆堂では、教科書の随所にQRコードが配置され、そのページの内容に関連する動画や画像等が検索しなくても閲覧できるよう工夫がなされておりました。

3つ目、小・中連携につきましては、2者とも、2年間で学んだことを生かして、これからの生活をどう工夫するかなど、2年間の学習のまとめが掲載されておりました。とりわけ、開隆堂では、中学校技術・家庭科の家庭分野の学習とのつながりをまとめて明示する工夫がなされておりました。

続いて、本市児童の家庭の学習の状況から見られる課題の解決に資する内容の視点で調査を行ったところ、次のような特徴がございました。

1つ目、「学習したことを日常生活において実践しようとするなど、家庭生活への関心・意欲・態度の育成」につきましては、2者とも、家族構成に関連する写真を掲載するなどし、興味・関心を高める工夫が見られました。とりわけ東京書籍では、いくつかの単元末に「生活を変えるチャンス」というページを設け、家族の一員として家庭の仕事をしたり、協力したりしようとする態度を育成するための工夫がなされておりました。

2つ目、「問題意識を持って生活を見つめ、自ら課題を見付けることができる力の育成」につきましては、2者とも、イラストやキャラクターの吹き出し、写真やコラム等の資料を効果的に掲載することにより、生活との関連性を見いだしやすく、課題意識を高めて実践を促す配慮がなされておりました。

最後に、その他として他教科等との関連について調査を行ったところ、次のような特徴がございました。

2者とも、家庭科用語の英単語と和訳を記載している部分があり、外国語科との関連が図られておりました。特に開隆堂については、英単語一覧に加え、生活の中のプログラミングとしてコラムを紹介しており、教科におけるプログラミング学習への配慮がなされておりました。

教 育 長

家庭について、御意見、御質問等がありますか。



本 田 委 員	<p>家庭の場合、内容がおおよそ3つに分かれますよね。「家族・家庭生活」、「衣食住の生活」、「消費生活と環境」とあるのですが、とりわけ新しいというかあまり今まで耳にしなかった消費生活と環境という領域が出てきているのですが、何か消費生活・消費者教育というのか、そういう中で特徴的な題材や内容がありましたら教えていただければと思います。</p>
千葉小委員長	<p>2者ともそれについては、しっかり取り上げていることを確認しています。ただ、消費する視点といわゆる環境に関わる視点と若干違いはあるのかなと思いますが、そういった新しい部分についてもしっかり明示されていたと思います。授業を行う私どもとしても、その辺りを広げて指導ができるのではないかと認識しております。</p>
教 育 長 各 委 員 教 育 長 千葉小委員長 教 育 長	<p>他に御意見、御質問等がありますか。          ありません。          それでは、家庭の審議はこれで終了します。ありがとうございました。          ありがとうございました。          暫時休憩いたします。</p>
	<p>(家庭小委員会小委員長退室)          (音楽小委員会小委員長入室)</p>
教 育 長	<p>再開いたします。          次に、音楽の審議を始めます。本日は御多用のところ、教育委員会会議に御出席いただきまして、ありがとうございます。令和2年度から使用する旭川市立小学校用教科用図書の採択に当たり、旭川市教科書調査委員会小委員長のお立場から当該委員会における調査研究結果について、答申書に基づいて御説明をお願いします。まず、調査委員会における役職・氏名を述べていただきまして、5分程度で説明をいただき、その後、教育委員からの質問に対して、お答えいただきたいと思います。調査委員会において専門的な見地や保護者の立場等から調査した結果について、調査委員として教科書の特徴等についてお話いただきたいと思います。なお、調査研究結果についての報告や説明、質問に対する回答の際は、着席したままで結構です。</p>
井村小委員長	<p>それでは、よろしく願いいたします。          音楽小委員会小委員長の井村佳代子でございます。よろしく願いいたします。          音楽小委員会は、4名の調査委員で構成され、3回の小委員会を開催し、音楽は2者の教科用図書について、旭川市教育委員会の教科用図書の採択方針に基づき、調査研究を行いました。          調査については、発行者ごとに別紙様式1に記載するとともに、観点ごとに各発行者の特徴を比較できるように、別紙様式2の一覧表に整理しました。          取扱内容、内容の構成・排列、分量等、使用上の配慮等については、別紙様式1に記載のとおり、いずれの発行者の教科書においても、音楽科の目標である「生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資料・能力の育成」が図られるよう、学習活動が設定され、構成等が工夫されておりました。          別紙様式2を御覧ください。3ページの上段から記載しております、指導上の配慮等については、地域素材の扱い、ICTの活用、小・中連携の3つの視点で調査を行ったところ、次のような特徴がございました。          1つ目、地域素材の扱いについては、各者とも、旭川市の地域人材を活用した学習活動ができるような教材が掲載されておりました。特に、教育芸術社においては、学習指導要領の第3学年及び第4学年において、新たに和楽器が旋律楽器として示されたことから、箏の図や写真、説明などが分かりやすく掲載され、箏の活用を促す学習内容が設定されておりました。</p>

2つ目、ICTの活用につきましては、各者とも、インターネットを通じて活用できるデジタルコンテンツが設定されており、教科書に記載されているQRコードから接続できるよう配慮がなされておりました。各者とも表現や鑑賞の学習に活用することが可能になっておりますが、特に、教育出版では、発行者ウェブサイトにおいて、鑑賞曲の演奏に合わせた動画楽譜や打楽器の奏法の映像等のコンテンツがあり、教科書を使用した授業の中で体験的に活用できるよう工夫がなされておりました。

3つ目、小・中連携につきましては、各者とも、中学校へのスムーズな移行を促すよう、表現や鑑賞の活動の支えとなる共通事項等が掲載されておりました。特に、教育出版においては、全学年の巻末に「音楽のもと」まとめや、各教材ページの上部に音楽を形づくっている要素の言葉を活用して各題材の学習を深めていくなど、共通事項を活用しながら、学年ごとに身に付けた力を系統的に積み上げていけるよう配慮がなされておりました。こちらについては中学校に連動しているというものになります。

続いて、本市児童の音楽科の学習の状況等から見られる課題の解決に資する内容について3つの視点で調査を行ったところ、次のような特徴がございました。

1つ目、音の重なりや、特徴的なフレーズを聴き取り、それらの働きが生み出す良さや面白さを生かして表現を工夫することについて、各者とも、学び方のポイントや、表現の工夫のヒントや手順など、各題材の学習で身に付ける資質・能力について整理されておりますが、特に、教育芸術社では、各題材のねらいに迫る学習の進め方や、親しみやすいキャラクターの吹き出しによって、工夫のヒントなどが示され、何をどのように取り組んでいくかを児童に考えさせるなど、表現を工夫していく力を身に付けさせる活動が容易にできるよう配慮がなされておりました。

2つ目、音楽遊びや即興的な表現を通して得た発想を生かし、即興的に音を選んだりつなげたりして表現することについては、各者とも、モチーフや音階を図で示したり、活動の手順を分かりやすく掲載しておりますが、特に、教育芸術社は、楽器の音の形やリズムを絵図で表したり、短いモチーフをカードで並べたりすることで、音遊びや即興的な演奏表現の活動が容易にできるようにするなど、音を楽しみながら音を音楽へと構成していけるよう工夫がなされておりました。

3つ目、想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、友達と伝え合い、友達の感じ方や考え方に共感することについて、各者とも、曲想や音楽の構造の特徴を言葉や図で表すなど、対話する場面で活用できるようにしておりました。特に教育出版においては、巻末に「音楽を表すいろいろな言葉」を掲載し、「繰り返す」「呼びかけたり答えたりする」などの音楽のしくみを表す言葉や、「楽しい」「輝かしい」などの音楽の感じ方、雰囲気を表す言葉が例示され、児童同士が例示された言葉等を用いて、音楽の特徴を伝え合う活動がしやすくなるよう工夫がなされておりました。

教 育 長  
本 田 委 員

音楽について、御意見、御質問等がありますか。

確認ですけれども、学習指導要領の指導計画の作成と内容の取扱いの中に、国歌「君が代」はいずれの学年においても歌えるよう指導することと記載されています。各者とも、このことについては適切に指導がなされるような題材になっていましたか。

井村小委員長

はい。いずれの発行者についても、それぞれの学年で全て「君が代」についての説明が取り扱われております。

杉 山 委 員

素朴な質問をさせてもらいたいのですが、小学校の場合は担任の先生が各教科とも教えますが、音楽みたいな科目については、専任の先生が別にいるのですか。

井村小委員長

旭川市内では、専任といえますか専科の教員が配置されている学校は多くないかと思えます。

杉山委員	<p>ということは主に担任の先生が教えるわけですね。今回教科書を見て思ったのですが、先生が教える時に結構難しいのではないかと思います。教科書自体が、この音楽に関してさほどスキルの無い先生でも教えやすい内容になっているのかどうなのか。2者しかないですが、両方ともそんなに違いはなかったでしょうか。</p>
井村小委員長	<p>配信コンテンツの話の中で、教育出版から出ているQRコードからのリンクについては、教科書の内容と直接関わりのある説明につながるものが結構多くありまして、そちらを開くと、楽譜で演奏しているのが表示されるものがございます。それから子供たちが話し合う中でいろいろな記録をとっていきような教科書の形になっております。どちらの教科書もなっているのですが、話し合い活動を元にいろいろな工夫ですとか創作ですとか、そういうものができるような形のものになっております。学習手順が示されているページがちりばめられて、特に学年が上がるにつれて、活動自体が結構高度になってまいりますので、こういう視点で学習を広げていけばよいという手順が両方ともに示されておりました。</p>
杉山委員	<p>今回、調査報告の中でデジタルコンテンツについては特に注意して調べていただきましたけれども、こういう専門的な科目の場合に、デジタルコンテンツの充実は先生方にとっても、教育のツールになることは間違いのないということによいですか。</p>
井村小委員長 教 育 長	<p>はい。 幼稚園・保育園からの導入として、あるいは小学校1年生から音楽が入りますけれども、何か教科書の中で工夫されている点がありますか。</p>
井村小委員長	<p>1年生の教科書の1番最初の部分は、幼稚園や保育園で取り扱うようなものが、教材としても取り扱われておりますし、楽譜ではなく歌ったり体を動かしたりリズムをとったりというような活動を多く取り入れております。また、動物をテーマにした楽曲が多く入っているのも、その理由かと思えます。</p>
教 育 長	<p>それは両出版者とも同じような工夫がされているということですか。</p>
井村小委員長 本 田 委 員	<p>はい。 たまたま教科書が2者しかないので聞きますが、鑑賞で扱われる題材は、2者とも共通しているのですか。それとも全く別々な違うものを鑑賞することになっているのか教えてください。</p>
井村小委員長	<p>鑑賞教材については、共通教材的なものが今はございませんので、全くと言っていいほど違うものが使われております。一部、「魔笛」が共通で掲載されています。やはり楽曲を使って旋律やリズムなどの共通事項に関わりがあるものをどうしてもやりたい時に取り扱われる内容として一部共通しているものもあります。ですが、楽器の音色という場合には、いろいろな特徴のある楽器を別々に取り扱われているという形になっておりました。</p>
教 育 長	<p>他に御意見、御質問等がありますか。</p>
各 委 員	<p>ありません。</p>
教 育 長	<p>それでは、音楽の審議はこれで終了します。ありがとうございました。</p>
井村小委員長	<p>ありがとうございました。</p>
教 育 長	<p>暫時休憩いたします。</p> <p>(音楽小委員会小委員長退室) (図画工作小委員会小委員長入室)</p>
教 育 長	<p>再開いたします。 次に、図画工作の審議を始めます。本日は御多用のところ、教育委員会会議に御出席いただきまして、ありがとうございました。令和2年度から使用する旭川市立小学校用教科用図書の採択に当たり、旭川市教科書調査委</p>

北島小委員長

員会小委員長のお立場から当該委員会における調査研究結果について、答申書に基づいて御説明をお願いします。まず、調査委員会における役職・氏名を述べていただきまして、5分程度で説明をいただき、その後、教育委員からの質問に対して、お答えいただきたいと思います。調査委員会において専門的な見地や保護者の立場等から調査した結果について、調査委員として教科書の特徴等についてお話いただきたいと思います。なお、調査研究結果についての報告や説明、質問に対する回答の際は、着席したままで結構です。

それでは、よろしく願いいたします。

図画工作小委員会小委員長の北島やよいと申します。よろしく願いいたします。

図画工作小委員会は、4名の調査委員で構成され、3回の小委員会を開催し、図画工作は2者の教科用図書について、旭川市教育委員会の教科用図書の採択方針に基づき、調査研究を行いました。

調査については、発行者ごとに別紙様式1に記載するとともに、観点ごとに各発行者の特徴を比較できるように、別紙様式2の一覧表に整理しました。図画工作の調査結果について、報告いたします。

取扱内容、内容の構成・排列、分量等、使用上の配慮等については、別紙様式1に記載のとおり、どちらの発行者の教科書も、図画工作科の目標である「生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資料・能力の育成」が図られるよう、学習活動が設定され、構成等が工夫されておりました。

別紙様式2を御覧ください。3ページ目の上段から記載しております、指導上の配慮等については、地域素材の扱い、ICTの活用、小・中連携の視点で調査を行ったところ、次のような特徴がございました。

1つ目、地域素材の扱いにつきましては、各者とも、自然を生かした題材や、美術館などの地域施設の活用を促す学習内容が設定されておりました。とりわけ、日本文教出版では、植物や氷、雪などを利用した題材を掲載し、地域の特性を生かした学習活動の展開を図れるよう工夫がなされているなど、児童の意欲を喚起できるようになっておりました。

2つ目、ICTの活用につきましては、各者ともデジタルカメラやタブレット等の活用が紹介されておりました。とりわけ、日本文教出版では、プロジェクターや投光器の利用、デジタルカメラの接写モード、インターネット等についての活用例を掲載するなど、様々なICTを活用し、どのように表すかについて考え構想する力を育成できるよう配慮、工夫がなされておりました。

3つ目、小・中連携につきましては、各者とも、中学校に向けての内容を掲載し、感じ、考え、想像し、何度も試す等の活動を通して、身に付けてきたことを実感し、これからの学習へ生かすよう工夫がなされておりました。とりわけ、日本文教出版では、小学校での図画工作の学習活動を写真で振り返り、中学校の学習に関するメッセージが掲載されており、児童が意欲を喚起できるようになっておりました。

続いて、本市児童の図画工作の学習の状況等から見られる課題の解決に資する内容の視点で調査を行ったところ、次のような特徴がございました。

1つ目、「作品を制作する中で、制作活動を振り返ったり、見直しをもって学習を進めること」について、各者とも、題材において、学習活動の流れが例示されておりました。特に、日本文教出版では、活動の後に振り返る視点や考え方のヒントになる言葉等が題材ごとに掲載され、どの題材例でも、「試す」「確かめながらつくる」という学習の流れを掲載するなど、児童が見直しをもって学習する力を育み、表現の質を高めることができるよう配慮がなされておりました。

2つ目、「児童同士が対話などの交流を通して感じ方や考え方を深めること」について、開隆堂では、鑑賞の題材が各学年4ページあり、幅広い

教 育 長 本 田 委 員	<p>授業展開を可能にする配慮がなされておりました。日本文教出版では、児童のつぶやきを吹き出しに表したり、アートゲームを紹介する等、児童同士が対話を通して交流しやすくなるよう配慮・工夫がなされておりました。</p> <p>図画工作について、御意見、御質問等がありますか。</p>
北 島 小 委 員 長 教 育 長	<p>報告にはないのですが、図画工作の教科指導をする上で、今回配慮事項の中に安全指導という言葉が出てきていますが、各者とも安全に関わる内容、指導について触れられていたのかどうかを教えてください。</p> <p>各者とも巻末に使う用具とその使い方の説明がございます。</p> <p>新学習指導要領の中に、学びに向かう力、人間性というものがあるが今回特に感性や豊かな情操を育むという点が強調されているところもありますが、今回の教科書の中でそういった点で工夫されている点はありませんか。</p>
北 島 小 委 員 長	<p>学習で進めていく内容がどちらの教科書も非常に明確になっており、子どもたちの思考が、それに沿って進んでいくようになっております。そこに子どもが実際に何を感じ、何をどう捉えるかというところは、いろいろなヒントが教科書の中に吹き出しで言葉になっていたり、教科書の中で1年生から出てくるキャラクターがございますが、そのキャラクターがちょっとしたつぶやきのような言葉を発していますので、そういうものをうまく拾っていくと、感性を育てるというところにもつながっていくのかなと思います。</p>
教 育 長 各 委 員 教 育 長	<p>他に御意見、御質問等がありますか。</p> <p>ありません。</p> <p>それでは、図画工作の審議はこれで終了します。ありがとうございました。</p>
北 島 小 委 員 長 教 育 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>暫時休憩いたします。</p>
教 育 長	<p>(図画工作小委員会小委員長退室)</p> <p>再開いたします。</p> <p>次は特別支援教育になりますけれども、特別支援学級におきましては児童の必要に応じてただいま審議している文部科学省の検定済教科用図書の下学年用のものや文部科学省著作教科書、一般図書の中から選んで使用しているという実態がございますが、今回、特別支援教育小委員会では文部科学省著作教科書につきまして調査をしておりますので、その部分についても引き続き調査報告を受けたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>暫時休憩いたします。</p>
教 育 長	<p>(特別支援教育小委員会小委員長入室)</p> <p>再開いたします。</p> <p>次に、特別支援教育の審議を始めます。本日は御多用のところ、教育委員会会議に御出席いただきまして、ありがとうございます。令和2年度から使用する旭川市立小学校用教科用図書の採択に当たり、旭川市教科書調査委員会小委員長のお立場から当該委員会における調査研究結果について、答申書に基づいて御説明をお願いします。まず、調査委員会における役職・氏名を述べていただきまして、5分程度で説明をいただき、その後、教育委員からの質問に対して、お答えいただきたいと思っております。調査委員会において専門的な見地や保護者の立場等から調査した結果について、調査委員として教科書の特徴等についてお話いただきたいと思っております。なお、調査研究結果についての報告や説明、質問に対する回答の際は、着席した</p>

横山小委員長

ままで結構です。

それでは、よろしくお願いいたします。

特別支援教育小委員会小委員長の横山市子と申します。よろしくお願いいたします。

特別支援教育小委員会は、4名の調査委員で構成され、3回の小委員会を開催し、知的特別支援学校小学部用教科書の国語が1者、算数が1者、音楽が1者の星1つから星3つまでについて、旭川市教育委員会の教科用図書の採択方針に基づき調査研究を行いました。

調査結果については、発行者ごとに別紙様式1に記載しております。

はじめに、知的障害者用の文部科学省著作教科書には小学部及び中学部の国語、算数、音楽の教科書があります。各教科書は、学習指導要領における特別支援学校（知的障害）の各教科に示している内容に対応して作られています。従って学年の表示はなく、星の数で段階を示すことによって、児童の障害の状態に応じて適切な段階のものを使用することができます。

国語と音楽の発行元は東京書籍、算数の発行元は教育出版となっていますが、いずれも著作権は文部科学省にあります。よって複数の発行元を比較するという調査ではありません。

知的障害のある児童は、学習によって得た知識や技能が断片的になりやすく、実際の生活の場で応用されにくいことや、活動に対して主体的に取り組む意欲が十分に育っていないことがあります。また、生活経験が十分ではないこともあるため、抽象的な内容より、実際の・具体的な内容の指導の方が効果的であると言われております。

それでは調査結果について報告します。

最初に、取扱内容につきましては、各者とも、国語、算数、音楽の育てたい資質・能力と日常生活の関連を意識し、学習活動が設定され、構成等が工夫されておりました。

次に、内容の構成・排列、分量等につきましては、内容の分量については、星の数が増えるごとに絵や写真より文字の数が多くなっておりました。特に国語では、星1つは挿絵が中心ですが、星3つでは文章が多用されておりました。

次に、使用上の配慮等につきましては、各者とも、教科を合わせた指導、遊びの指導、生活に結びついた実際的な活動などに関連を図ることにより、日常化、生活化することができるような配慮がなされておりました。その中で、特に算数について、時間やお金について学習するページにおいて日常生活と関連付けるなどの工夫がなされておりました。

次に、指導上の配慮等につきましては、各者とも、小・中連携については、児童生徒の発達段階に応じて使用することができるよう配慮がなされておりました。

最後に、本市児童の学習の状況等につきましては、知的障害のある児童の実態から、「目で見て理解する」、「触れて分かる」、「イメージをもつ」という観点で調査研究を行いました。特に算数については、透明なシートを重ねたり、手で触れたり、具体的な操作が体験できる工夫がなされておりました。

教 育 長  
杉 山 委 員

特別支援教育について、御意見、御質問等がありますか。

通常はこのような教科書を使うのか、それとも例えば3年生については1年生の教科書を使うとか、それは、学校、クラスもしくは児童によって先生が決めていくというものなのでしょうか。例えば、様々な本がありますけれども、どの教科書を子どもに使うというのは、やはり先生が児童の発達の状態を見ながら判断していくということですよ。実際には、それと同様にこれ以外のものを使ってやるというケースもあるわけですよ。やはりこういったものがあつた方が、選択肢が広がって子どもたちにとっては良いことだということですよ。

横山小委員長	そのように考えていますが、実際に具体的な小学校の特別支援学級となりますと、交流学級の児童との関係から保護者が通常の教科書を強く望まれるケースの方がどちらかというとなっていております。ですからこの教科書を使いたいと思っても児童に与える教科書は1冊しか選べませんので、みんなと同じ教科書を希望される方が多いのが実情だと思います。
杉山委員	逆のことを考えたら保護者はそういう風に、どうしても希望するのでしょうか。
横山小委員長	はい。ですから、この教科書を持たせないでみんなと同じ教科書ですが、その教科書ではなかなか難しいところは具体物を使ったり遊びを通すといった、組み合わせた指導を担当が工夫しているというのが現場の実態です。
杉山委員	教育委員会としてはこのような教科書も採択しておく必要があるということですね。
教育長	そうですね。やはりその児童のための教育の選択の幅を広げるという意味での教科書として担保しておきたいという考えです。
本田委員	障害の状態にもよりますから、必ずしもみんなで普通の教科書で学べればいいけれども、それが叶わない子もいるわけですから、保護者の理解を得ながらその子の障害の状態に応じた教科書で学習することがよいのではないかと思います。また交流学习だけで授業が進んでいるわけではないので、こういったものが主流として使われたりプリント、ワークシートを使ったりするなど、下学年の内容を学ぶことも可能だと思われるので、採択しておくのがよいと思われます。
教育長	特別支援に関わる児童数というのも年々増えてきている傾向もありますので、そういったことのためにこのような教科書・教材等も一定の幅をきちんと持つておく必要があるのではないかと思います。
杉山委員	逆に言えば、この3科目しか教科書を作っていないというのはいかがなものかと思えますよね。
教育長	他に御意見、御質問等がありますか。
各委員	ありません。
教育長	それでは、特別支援教育の審議はこれで終了します。ありがとうございました。
横山小委員長	ありがとうございました。
教育長	暫時休憩いたします。
	(特別支援教育小委員会小委員長退室)
教育長	再開いたします。 続きまして7月25日に報告・説明いただいた、発行者が4者以上の教科用図書がある種目について、今後の審査の効率化と充実を図る観点から、それぞれ3者程度まで重点的に審議する対象とするものを絞り込み、今後の審議に臨みたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。 進行する審議の順番といたしましては、前回の会議で説明のあった国語、書写、理科、生活、算数、英語、保健、道徳の順番で審議を進めたいと思っております。各者ともそれぞれの委員の方から、採択方針を踏まえて、採択を見据えて重点的に審議することが適当と考えられる教科書についておおむね3者程度を基本に御意見をいただきたいと思っております。どのような視点からという御意見等ございましたら御発言いただければと思いますので、よろしく願いいたします。その後、絞り込んだものにつきまして、再度協議していくというような形で進めさせていただきます。なお、各教科ごとのまとめの中でおおむねきちんと絞り込むことができればありがたいと思えますし、少し意見が分かれば、またその時点で少し絞り込むための議論を深めてまいりたいと思えます。このような進め方でよろしいでしょうか。

各 教	委 育	員 長	<p>異議ありません。</p> <p>「異議なし。」と認め、この手順で進めさせていただきます。</p> <p>それではまず国語から御発言をいただきたいと思います。順番といたしましては、杉山委員、滝山委員、近藤委員、本田委員、それから私の順でお願いしたいと思います。</p>
杉	山	委 員	<p>それでは杉山委員から、国語に関して、出版者についてのお考えを御発言いただきたいと思います。よろしくお願ひいたします。</p> <p>調査報告にもありましたが、全ての発行者について国語の目標である「国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力の育成」を図る学習活動が設定され、構成等が工夫されていると報告がありました。関連図書を数多く紹介していますし、いずれも児童生徒の学習意欲を高める工夫がされていて、主体的に学習に取り組める工夫がされている教科書だなと感じました。</p> <p>そうした中で学校図書は、若干字が小さかったり、すっきりさにやや欠ける印象がありました。東京書籍は、情報量は少ないのですがシンプルなレイアウトで分かりやすく、大事な情報に着目できる配慮がされていたと思いました。教育出版と光村図書は、学習課程を明確に示す工夫がされており、経験の浅い教員でも、課題である「考えの形成」を大切に授業づくりができるといったことを感じました。</p>
滝	山	委 員	<p>以上より東京書籍、教育出版、光村図書の3者に絞り込みたいと思いました。</p> <p>4者とも最低限の条件を満たしているということですが、旭川市で子どもたちに身に付けてほしい能力が3つありますよね。国語科の学習で身に付ける言葉の力という点で、東京書籍と光村図書は、その言葉を使って生かそうというコーナーが特にあります。それから、データを元に考えを進めていく、情報をいかに生かすかという点で、教育出版と光村図書は情報を生かした言語活動に取り組むことができるよう工夫されています。最後の一つに経験の浅い若い教員でも、課題である「考えの形成」を大切に授業づくりができやすい教科書は教育出版と光村図書と報告にありますので、光村図書、教育出版、東京書籍の3つをピックアップすればよろしいかと思います。</p>
近	藤	委 員	<p>全て「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に関して網羅されていると思いました。その中で学校図書はやはり国語の教科書としては少し見づらいというか、イラストが多用されていて、散らかった印象があります。また、内容が他の3者と比べてなんとなく易しいような感じがしました。東京書籍は、目次に「話す・聞く・書く・読む」という見出しがきちんと明示されていることと、学習の進め方というのが最初にあって単元ごとに振り返りがあることと、新しく出てきた漢字が下に分かりやすく書いてあることが印象的でした。教育出版はその学年がその単元で学ぶことが分かりやすくまとまっている印象でした。光村図書についても目次に「話す・聞く・書く・読む」ということが明示されていて、また、読み物の内容になると、子どもたちがみんなで考える、話し合うという進め方が分かりやすく書いてあったと思います。読み物と、そうではない話し合うという内容のメリハリがはっきりしていて、学ぶことの違い、幅が広がるという印象がありました。</p>
本	田	委 員	<p>3者選ぶとしたら東京書籍、教育出版、光村図書ですが、私としては東京書籍と光村図書の2者とさせていただきます。</p> <p>各委員がお話されていることとほぼ同様だと思われませんが、「国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力の育成」というのが今回の大きな国語の目標です。それに沿って題材が配置されていること、言語活動例が提示されていて、その教育活動が行われやすい教科書はどれかといった視点で見たとき、私は教育出版、光村図書、東京書籍の3つが該当するのかなと思います。とりわけ、旭川市の子供の実態で報告もありましたが、他者</p>



教 育 長	<p>と比較して、豊富な資料が提示されており、児童が自分自身の目的により適した資料を選択することができるよう配慮がなされているという表現もありました。そういった教科書が選ばれることが何よりかなと思われま</p> <p>各委員おっしゃられたとおりでと思っております。基本的な内容については十分に各者ともに満たしていると思っておりますけれども、今回着目している指導上の配慮等、本市児童の学習の状況等で工夫・特徴のある点ということで、特に学習過程の明確化や授業の展開のしやすさ、具体的には日常生活に必要な知識・技能といったものを読書等を通じて理解が深められるかということ、言葉と文字の学びといった点から見ますと、光村図書と教育出版が望ましいと考えます。</p>
各 委 員	<p>以上各委員からの御発言をいただきました。3者以内にまとめるということで、ほとんどの委員の出版者がほぼ重なっておりますことから、今回の審議は東京書籍と教育出版、光村図書の3者を対象に具体的な審議に入りたいと思っておりますが、御異議ありませんか。</p>
教 育 長	<p>異議ありません。</p> <p>「異議なし。」と認め、国語についての次回の審議は東京書籍と教育出版と光村図書の3者を対象にします。</p>
杉 山 委 員	<p>続いて、書写に移ります。国語との関連性もございすけれども、また同じ順番で書写についてのお考えを御発言いただきたいと思っております。</p> <p>国語と同じ東京書籍、教育出版、光村図書の3者を選びたいと思っております。国語と関連のある科目ですから、国語と同じ出版者が良いだろうということと、もう1つは報告にもありましたけれども、見通しや目的意識を持って学習に取り組む工夫についても東京書籍、教育出版、光村図書は十分に配慮がされているといったことを理由といたします。</p>
滝 山 委 員	<p>私は全体を通したら東京書籍と光村図書の2者で良いと考えています。巻末に今まで習った字がまとめてあり、非常に分かりやすく良いことと、低学年にも配慮しているように思いました。</p>
近 藤 委 員	<p>私も教育出版と光村図書の2者を選びさせていただきました。東京書籍も選びたかったのですが、教科書が大きいというのが、最後の難点でした。内容は3者遜色なくて、書写である大きい教科書をどこに置くのだろうということで今回は選びませんでした。教育出版は毛筆で学んだことを硬筆で書くということで、硬筆のページがとても充実しているように思いました。光村図書はそれに加えてペンの使い方なども豊富に掲載されていたので選びました。</p>
本 田 委 員	<p>私は国語で東京書籍、教育出版、光村図書を選びましたが、「国語でこの発行者を選んだから書写もこの発行者」というような必要十分条件ではないという前提で考えました。ねらいはどの発行者でも同じですから、国語と書写が違っていても認められます。何が書写で必要かというところ、近藤委員が言われたように、毛筆で学んだことが硬筆に転移することが何よりのねらいなものですから、教育出版、光村図書、日本文教出版を選びました。これは表現された文字の好き嫌いもあると思っておりますから、次回の時にそれぞれ意見を出し合って決めると良いと思っております。それから使われている文字の難易度、とりわけ毛筆で書くとき本当に書くことができるのかということも疑問がありますので、なにより硬筆へ転移しやすいということで、この3者を選びました。</p>
教 育 長	<p>光村図書は非常に基本的な内容で構成されているという印象と、教育出版については文字の知識を広める要素が多く記載されていると思っております。東京書籍も考えたのですが、だいぶメニューが豊富で、書写の時間の中で消化ができる内容なのかということに少し疑問があったり、書写の能力の向上につながる構成になっているのかということ、情報量とは別に心配を持ったところでありまして、私としては光村図書と教育出版で考えたところでありま</p>

本 田 委 員	東京書籍につきましては2人，教育出版については4人，光村図書は5人，日本文教出版については1人となっております。4者には絞れている形にはなっておりますが，いかがでしょうか。
教 育 長	1人だけでは支持が得られませんから，3者という前提で考えているのでそれが2者になっても，とりわけ私としては意見はありませんので，多く皆さんの声が出たところに絞ることで良いのではないかと思います。
杉 山 委 員	いずれにしても多数決で決めるというよりは，全体の総意である程度ここが絞り込みの出版者として妥当ではないかというところで落ち着かせたいと思っております。今，本田委員から日本文教出版を挙げていただきましたけれども，他の委員からは挙がらなかったところであります。
本 田 委 員	過半数を獲得した2者に絞り込んだ方が良いのではないですか。
教 育 長	書写に限らず他の教科にあっても杉山委員がおっしゃられた過半数を獲得した発行者という方針が良いのではないのでしょうか。
各 委 員	本格審議の際には，先ほど言ったとおり多数決よりも全体の総意で決定したいと思っておりますが，今日のところは絞り込むことを目標にしながらということで，書写につきましては，過半数の方から挙げられました教育出版と光村図書の2者ということで，次回審議を進めさせていただきたいと思っておりますが，御異議ありませんか。
教 育 長	異議ありません。
杉 山 委 員	「異議なし。」と認め，書写についての次回の審議は教育出版と光村図書の2者を対象とします。
滝 山 委 員	次に理科に移ります。また同じ順番でお考えを御発言いただきたいと思っております。
近 藤 委 員	理科の目標である「自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力の育成」という目標に対して選びたいと思うのは，大日本図書と教育出版の2者です。この2者については，実験結果から適切に考察が行われるようにキャラクターによる吹き出しでヒントが示されています。また，問題解決の力というのが理科において非常に重要な項目になるのですが，この2者については，問題解決に当たっての8つのステップを意識した構成の工夫が見られて，中学校と違って理科を専門としない担任の先生でも問題解決の過程で指導を組み立てやすいという特徴のあるところを高く評価したいと思っております。
近 藤 委 員	理科の問題解決の8つのステップを意識した教育が大事であり，大日本図書と教育出版は全ての場面でこれを踏まえているということで，理科を専門としない先生でも十分に指導を組み立てやすいという調査報告があります。他の部分でも大日本図書，教育出版，啓林館においては，中学校での学習内容との関連が分かる記載が多くあり，中学校での学習について，興味・関心を高めることができる，要は中学校への橋渡しもできるし，理科の考え方をきちんと把握できる教科書であるということで，大日本図書と教育出版に加え，啓林館も入れてみたいと思って読んでいました。少し難しいかなとも思いましたが，スタンダードなものとの難しいものが選択肢に入っても良いと考え，この3者を選びました。
近 藤 委 員	私も前回の調査報告を受けて，もう一度読み返してみたのですが，大日本図書は問題提起から考察・結論までの流れが，全ての項目で筋道があつてとても分かりやすくなっていました。写真とイラストの使い方が効果的で，子どもたちを飽きさせないで興味を持って実験に取り組んでもらえるような教科書かなと思います。もう1者は教育出版で，特徴として同じように問題提起・結論・考察まできちんと筋道が立って全ての流れができていました。あと確かめ問題というのがすごく良い問題がたくさん記載されていまして。やはり振り返ってもう一度確かめてみるというのは，すごく大事だと思えました。教育出版に大きい人体のイラストが見開きであり，それは他にはない特徴だと思えました。また，話題提供の点で6年生では

本 田 委 員	ミドリムシの項目等，世界的に話題になっているものも載っていたと思います。滝山委員と同じですが，もう1つ選ぶとしたら啓林館で，少し内容が難しいかなと思ったのですが，目次が見やすく整理されていて器具の使い方も載っていて，別に表示されていたので，3者目は啓林館にしたいと思います。
教 育 長	理科の目標は「自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力の育成」ですが，学習指導要領で重視されている問題解決的な学習の最たる教科は，まさに理科だと私は思っていて，調査報告をお聞きすると大日本図書と教育出版は，ほぼ全ての場面で問題解決の8つのステップを踏まえた構成となっており，それには私も賛同するのでこの2者を選びました。もう1者は皆さんの声になかった東京書籍を挙げさせていただきます。 学習内容の展開，関連資料の工夫・充実また，児童の学習がしっかり深められるかという点で，全体的に教育出版の資料が充実しており，学習項目の順番，流れ，実験の工夫等，全体的に非常にまとまりが良いのでまずは教育出版を挙げさせていただきます。もう一つは啓林館ですが，どちらかと言うと理科好きの子どもが学びやすい内容で，先ほど滝山委員からお話がありましたが，ある程度標準より上の学力といえますか，興味・関心がある子には啓林館ということも考えました。加えて大日本図書は，全体的に非常に丁寧で実験の結果・考察・結論の考え方という流れが非常に分かりやすく整理されており，教育出版，大日本図書，啓林館の3者と考えたところであります。
各 委 員	理科につきましては，東京書籍は1人ですが，教育出版と大日本図書は全員，啓林館が3人となりました。過半数以上ということで一旦整理いたしますと，教育出版と大日本図書と啓林館となりますが，この3者ということで，次回審議を進めさせていただきたいと思いますが，御異議ありませんか。
各 教 育 長	異議ありません。 「異議なし。」と認め，理科についての次回の審議は教育出版と大日本図書と啓林館の3者を対象とします。 次に生活に移ります。また同じ順番でお考えを御発言いただきたいと思います。
杉 山 委 員	東京書籍と日本文教出版の2者を推薦します。東京書籍と日本文教出版に関しては，調査報告にもありましたように児童が表現方法をイメージしやすい配慮がされてるといふことと，探究の過程を経験できるような学習過程に工夫がされていることを理由としたいと思います。
滝 山 委 員	私も同じく東京書籍と日本文教出版です。1，2年生が3，4年生に進学するときに興味を継続できるかどうかという点で，東京書籍と日本文教出版が同じように探究の過程を経験できるということがすごく教科に合っているのではないかと考えて選びました。東京書籍は小学校に入ってまず最初に学ぶ理科みたいなものをつつきやすくするような工夫が多くされていると感じました。
近 藤 委 員	生活はすごく迷ったのですが，1番目は教育出版です。3，4年生用のものを重点的に見たのですが，子供たちが生活の学習で感じたことを考える力を身に付けるのに良い内容で，すっきり見やすい仕様になっていると思いました。次に学校図書です。春夏秋冬の行事がきちんと描かれていて，学び図鑑というものがあって日常生活で基本的にすることを調べるといふことと，ミニメモのような物知りノート等が充実しているなという印象がありました。教科書を読んだ中で写真とイラストのバランスが良く，子どもたちが興味を持って学べるのではないかと思います。3番目が東京書籍と日本文教出版で悩んだのですが，日本文教出版は1年生には良いのですが，2年生になると少し物足りないのではないかと内容です。東京

本 田 委 員	<p>書籍は季節の行事や子供たちの考えが吹き出しで示されていたので、東京書籍を選びたいと思います。東京書籍，学校図書，教育出版の3者でお願いします。</p>
教 育 長	<p>スタートカリキュラムである教科なものですから、それが報告されているところからということと、地域素材の扱いも優れており、1年生でこれをする2年生でこれをするというより、1，2年生でひとくくりとして考えたときに、生活の特質としては、まず、日本文教出版が良いと思いました。それから、同じく地域素材を教育出版は扱っている、教育出版が2つ目です。皆さんと違うのが、3つ目に光村図書を選びましたが、日本文教出版，教育出版を優先させてください。</p>
各 委 員 教 育 長	<p>私は、まずは日本文教出版です。旭川関連の身近な素材を扱った興味・関心の工夫ですとか、単元ごとの探究，経験を通じての学習，巻末の工夫など全体を通して日本文教出版が優れていると感じました。東京書籍も内容が分かりやすく構成されていると思ったのですが、一番心配だったのは、東京書籍は大判であることです。1，2年生にとってあの大きさは机上でどのように扱われるのか，ということは次の段階で議論いただきたいと思うのですが、東京書籍も選ばせていただき、2者に絞ったところですが、生活につきましては、東京書籍が4人，学校図書が1人，教育出版が2人，光村図書が1人，日本文教出版が4人となりました。過半数以上ということで一旦整理いたしますと、東京書籍と日本文教出版となりますが、この2者ということで、次回審議を進めさせていただきたいと思いますが、御異議ありませんか。</p>
杉 山 委 員	<p>異議ありません。 「異議なし。」と認め、生活についての次回の審議は東京書籍と日本文教出版の2者を対象とします。 次に算数に移ります。また同じ順番でお考えを御発言いただきたいと思いをします。</p>
滝 山 委 員	<p>教育出版と大日本図書2者を選びます。教育出版については、一番最初に読みました。現在使われているということもあるのでしょうかけれども、非常に内容が充実しており、数学的な考え方・見方というものが、この教科書ではよく身に付くと思います。ボリュームも結構あり、点検するといった確かめ問題というものもあり、この教科書でいけば、かなり問題解決しようという態度を身に付ける、育成することができるかなと思いました。もう1者の大日本図書については、報告の中にもありましたが、やはり「ひらめきアイテム集」を使っての数学的見方・考え方が明示されていることを根拠にして候補として挙げたいと思います。</p>
近 藤 委 員	<p>まずは教育出版です。四則計算もきちんと載っているし、問題もそんなに難しくなくて、中くらいをいっているのかなと思いました。次に啓林館も問題が難しいという話もありましたけれども、それも選択の余地としてあっても良いのかなと思いました。もう1つは東京書籍で、以上の3者です。普通のものとは難しいもの、問題がプログラムとかいろいろと記載の多いやつを選びました。</p> <p>私は数学が大好きなので、皆さんと違った考えになるかもしれないのですが、突出して良かったのが教育出版だと思いました。教科書に書き込みしていくところもあって問題を解いていく上でノートだけではなく教科書にスペースがあるというのはすごく勉強がしやすいのではないかなと思ったのと、各者キャラクターがいて、吹き出しでヒントが出ているのですが、教育出版のものがちょうど良いヒントの出し方だと思いました。ここまでというギリギリのヒントを与えて、少し考えさせるような工夫でした。東京書籍は構成としてすごく良かったのですが、吹き出しの難易度が少し高く、子供たちが考えを発展させるのに邪魔になってしまうという印象がありました。違う考えを持っている子供が答えを出せなくなってしまうとい</p>

本 田 委 員	<p>うイメージがありました。2つ目は啓林館です。少し説明のときに難しいというお話だったんですけども、これも子供たちが自分で考えるきっかけになるようなヒントが散りばめられていて、振り返るまとめがすごく多いというところで力が付く教科書ではないかなと思いました。もう1つ選ぶとしたら、学校図書です。まとめと補習というのがすごく充実しているのと、自分たちができるようになったことを振り返る部分があって、予習よりも復習が大事な教科だと思うので、そういった力を付けるには良い教科書かなと思いました。</p>
教 育 長	<p>今日はどれ程良いか、どれ程悪いかという話はできないと思うのですが、ただ言えることは、教育出版が良かったと思います。高学年の教科書の入りが、まさに数学的処理というか作業というのがとても数学好きになるのではないかという扱いから入っています。知識技能が延長ではないっていう、そこに向かう姿勢をつくるという教科書では教育出版が良いのかなと思います。多分皆さんも同意見ではないかなと思います。後はもう横並びで、どれを選んでも過半数行かないだろうと思うので、私は東京書籍を選びました。以上2者です。</p>
各 委 員 教 育 長	<p>私も同じようにまずは教育出版であります。学習過程の振り返り、基本的な知識技能の習得など、全ての面において良かったという評価で、まずは教育出版と考えております。その後は難しいですが、東京書籍と啓林館を選びたいと思います。</p> <p>算数につきましては、東京書籍が3人、学校図書が1人、教育出版が全員、大日本図書が1人、啓林館が3人となりました。過半数以上ということで一旦整理いたしますと、東京書籍と教育出版と啓林館となりますが、この3者ということで、次回審議を進めさせていただきたいと思いますが、御異議ありませんか。</p>
杉 山 委 員	<p>異議ありません。</p> <p>「異議なし。」と認め、算数についての次回の審議は東京書籍と教育出版と啓林館の3者を対象とします。</p> <p>次に英語に移ります。また同じ順番でお考えを御発言いただきたいと思います。</p>
滝 山 委 員	<p>東京書籍、開隆堂、教育出版、この3者です。理由としては、どれも授業のイメージがよく分からないのですが、そういう中で、東京書籍は付録が良く、中学校につながるのではないかとということも1つあります。それから、ICTの活用のところ、東京書籍のデジタルコンテンツは非常に充実しているという点です。問題はあるのかもしれませんが、英語についてあまり得意でない先生方も結構いらっしゃるでしょうし、そういう方が教える時に結構大きなサポートになるのではないかなと思います。他の2者については、理由は省かせていただきます。</p>
近 藤 委 員	<p>最初に教科書を全部見たときに、記述するスペースばかりで、音を聞かないと選べないな、これ自学自習にあまりならないなと思ったのですが、やはりその中でまとめてあるのが東京書籍とそれから開隆堂と教育出版です。この3つの教科書は中学校でも少し役立ちそうなものがありますし、最後の方にしっかり単語の記載があり、やはり単語力が大事ですから、そういうところを踏まえて選びました。</p> <p>3つに絞るのがとても大変だったのですが、私は東京書籍と学校図書と教育出版の3者を選びたいと思います。東京書籍はやはり別冊の付録が付いているのがポイントが高かったと思います。ただ、リスニングがメインというイメージだったので、その場でQRコードを読み込んでみたのですが、読み込みができなかったです。皆さん読み込めましたか。多分画像が多いのではないかなと思います。データが重たくて環境によって表示ができないのか、家庭の環境によっては、もしかしたらQRコードは役に立たないのかなというのも、そこは懸念としてありました。学校図書は、教科書</p>

		<p>にもこのリスニングと同じ文章が記載されています。聞いて穴埋めではなく、最初の導入部分としては教科書を見ながら、文章を見ながら聞けるというのはすごく特徴的で良いなと思いました。教育出版は単語が導入部分で示されていて、英語により親しみやすい、入りやすい教科書というのと、1つ1つの単元が短くて、クイズ形式のものが多く、小学校でも楽しみながら英語に親しめるのではないかという印象でした。それぞれ音声などの特徴もあったのですが、どうしても3者というと東京書籍と学校図書と教育出版ということでお願いします。</p>
教 育 長		<p>3者以内ですから2者でもかまいませんが、今のところ3者ということではよろしいですか。</p>
近 藤 委 員		<p>はい。最初、5者になってしまいました。</p>
教 育 長		<p>分かりました。ありがとうございます。</p>
本 田 委 員		<p>私は4者でしたが、1つ削ろうと思い教育出版、開隆堂、東京書籍の3つになりました。選んだ理由というのは、国語と同様に言語活動といえますかコミュニケーション活動が充実した教科書という観点で見させてもらいました。調査報告では、教育出版は学習した表現や語句を使ったコミュニケーション活動が各レッスンごとの最後の活動に設定されているとのことでしたので、教育出版を選びました。他の2者については、ここについては多く取り扱っているんだろうなということで、東京書籍と開隆堂を選びました。</p>
教 育 長		<p>私もほとんど同じで上位3者を挙げると、最初は東京書籍であります。コミュニケーションの場面とか外国の紹介・理解の工夫はされていますし、書くことの練習も適当にあり、量的には多くないのですが、非常に分かりやすい内容になっているかなと思いました。教育出版も非常に全体的に日常的な場面設定も含めて、単語力とか書く力についても配慮がされていると見ています。開隆堂も徐々に学んでいくような、同じ場面設定でも徐々に学びを高めていくというようなことや、日本と世界の文化を通じての学習、聞く力、書く力ということところにも一定の配慮があったなと思います。</p>
		<p>英語につきましては、東京書籍が全員、学校図書が1人、教育出版が全員、開隆堂が4人となりました。過半数以上ということで一旦整理いたしますと、東京書籍と教育出版と開隆堂となりますが、この3者ということで、次回審議を進めさせていただきたいと思いますが、御異議ありませんか。</p>
各 委 員		<p>異議ありません。</p>
教 育 長		<p>「異議なし。」と認め、英語についての次回の審議は東京書籍と教育出版と開隆堂の3者を対象とします。</p>
		<p>次に保健に移ります。また同じ順番でお考えを御発言いただきたいと思います。</p>
杉 山 委 員		<p>東京書籍、光文書院、学研教育みらい、この3者を選びます。理由は、省かせていただきます。</p>
滝 山 委 員		<p>まずは学研教育みらい、もう1者が東京書籍で2者を選びました。学研教育みらいに関しては、結構病気のことも書いてあります。今は小学校からがん教育をなささいという話も聞いたことがありますし、そういう意味では、少し難しいですが、そのような話題が掲載されていた方が良いと思います。東京書籍は写真が綺麗で見やすいものが多く、どんどん読み進められるような印象でした。</p>
近 藤 委 員		<p>私は一番は学研教育みらいですね。滝山委員と同じような見方になってしまっているとは思いますが、いろいろな病気のことなどを知るのに良い点と、現代病についてパソコン・タブレットへの対応などがきちんと載っていたのと、「知りたい・調べたい」という感じで子供たちに興味を持たせるような内容が載っていたと思います。あと、表現の仕方が、おそらく小学生にはとても分かりやすいと思いました。もう1者は東京書籍で、子</p>

<p>本 田 委 員 教 育 長</p>	<p>供たちが話し合っ自分の考えや意見をとてもしやすい教科書になっていると思います。資料についても、とて良い内容で書かれていたと思います。また、現代社会の問題が多く取りあげられており、がんのことや飲酒・喫煙の害などもきちんと書かれていました。</p> <p>私は2者しか選びませんでした。学研教育みらいが良くて、そのあとは光文書院であると思いました。理由は特に、皆さんのおっしゃることと変わりませんので省きたいと思います。</p> <p>私も2者になりました。1者が東京書籍です。内容、構成が非常に分かりやすいというような見方で、いろいろと指導上の配慮の点や本市の児童の学習状況等の工夫した点ということでの報告があったためです。もう1者が学研教育みらいです。大変情報量も多いですし、詳しい資料が付いていて、先ほどおっしゃっていた現代的な病気、健康に関する要素も多く取り上げられておりましたので、あとは授業時間の中でどこまで活用が可能なのかというところは私にも分からなかったのですが、内容の充実度から考えると、学研教育みらいと考えたところであります。</p>
<p>各 委 員 教 育 長</p>	<p>保健につきましては、東京書籍が4人、光文書院が2人、学研教育みらいが全員となりました。過半数以上ということで一旦整理いたしますと、東京書籍と学研教育みらいとなりますが、この2者ということで、次回審議を進めさせていただきたいと思いますが、御異議ありませんか。</p> <p>異議ありません。</p> <p>「異議なし。」と認め、保健についての次回の審議は東京書籍と学研教育みらいの2者を対象とします。</p> <p>本日の審議の最後である、道徳に移ります。また同じ順番でお考えを御発言いただきたいと思います。</p>
<p>杉 山 委 員</p>	<p>小学校の教科書は一昨年議論して、今回は大分内容が変わっているかなと思って読み比べてみましたけれども、ほとんど内容的には前回と同じ内容で、日本文教出版で良いのではないかと、あえて変える必要はないなと思いましたが、今日は決定する場所ではないので、前回の小委員会での報告にあった中で、前回の選択のときにも多分残っていたのだと思いますが、光村図書と教育出版を加えた3者に絞り込みたいと思います。</p>
<p>滝 山 委 員</p>	<p>私も日本文教出版は2冊に分かれていて使いやすいと思いますし、先生方の御意見もなかなか使いやすいという話もあったので、まず日本文教出版を選びます。あと、教育出版と光村図書は中学校との連携の部分、あるいは道徳的価値を高めるという旭川市の課題に関する部分でも常に名前が書いてあると思いますので、3者挙げるとしたら教育出版と光村図書と日本文教出版です。</p>
<p>近 藤 委 員</p>	<p>私も先のお二方と全く同じ意見になります。一昨年、初めての教科書採択で一生懸命読んで日本文教出版がとて良かったので、選びました。今回大きく変わっていたのであれば、やはり全部から選び直さないといけないなという気もしていたのですが、そのような内容の変更ではなかったもので、まずは日本文教出版です。別冊のノートについて先日確認させていただいたら、先生方もそれに慣れてきておっしゃっていました。あと2者選ぶとしたら、同じく教育出版と光村図書で、一応検討した方が良いのではないかとことです。</p>
<p>本 田 委 員</p>	<p>私も全く同じ意見なのですが、やはりマイナーチェンジが行われているようで、日本文教出版のノートの完成度が随分高くなってきたという印象です。廣済堂あかつきもノートがあったのですが、こちらは変化がありません。教育出版と光村図書は使われている題材は良いのですが、あまり変わっておらず、3つ挙げるなら日本文教出版、教育出版、光村図書ですが、日本文教出版がやはり現実的かなという感想です。</p>
<p>近 藤 委 員 教 育 長</p>	<p>おそらく、皆同じ意見だと思います。</p> <p>ありがとうございます。</p>

各 教	委 育	員 長	<p>私も一通り見て、小委員会の御報告等を聞いた中では、現行の日本文教出版が一番良いと思います。逆に、変える理由がないと思っはいますが、光村図書と教育出版は、理解のしやすさや工夫の点では挙げられると思っはしております。</p> <p>道徳につきましては、教育出版、光村図書、日本文教出版で全員御意見が一致したので、この3者ということで、次回審議を進めさせていただきますと思っはしますが、御異議ありませんか。</p> <p>異議ありません。</p> <p>「異議なし。」と認め、道徳についての次回の審議は教育出版と光村図書と日本文教出版の3者を対象とします。</p> <p>各委員には事前にお考えをしっかりと整理していただいておりますので、大変スムーズな審議で絞り込みができました。ありがとうございました。</p> <p>本日の審議はここまでとさせていただきます。</p>
教 各 事 教	育 委 務 育	長 員 局 長	<p>《 そ の 他 》</p> <p>他に、何かありますか。</p> <p>ありません。</p> <p>ありません。</p> <p>それでは、以上で令和元年7月第1回臨時教育委員会会議を終了いたします。</p>
			<p>《 閉 会 》</p>